

現場の福祉実践から描く包括的支援体制 —AI と人間の共創へ—

日本では地域包括ケアシステムの構築とともに、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の整備が進められている。一方、韓国では 2026 年 3 月より「医療・介護等の地域ケアの統合支援に関する法律（ケア統合支援法）」が施行された。本セッションでは、両国の実践現場における取り組み事例の報告を通じて、包括的支援体制の動向を整理する。そのうえで今後の展望を描き、AI 時代の支援における課題を模索する。

ハイフレックス
開催

対面+オンライン
(Zoom)

日時

2026 年 6 月 27 日 (土)

14:00~17:00 (対面 開場 13:30)

場所・定員

ハイフレックス方式

【対面】定員：先着 100 名

昭和女子大学 8 号館 6 階 オーロラホール
東京都世田谷区太子堂 1-7-57

【オンライン】定員：先着 300 名

Zoom ウェビナー 前日までに Zoom 情報をメールでお送りします

対象

大学生、大学院生、実務者、大学教職員など

申込

下記 QR コードからお申し込みください。
申込締切：6 月 13 日 (土)

参加申込は
こちら



運営

【ファシリテーター】 奥貫 妃文 教授
昭和女子大学人間社会学部福祉社会学科

【コメンテーター】 山本 雅章 特命教授
昭和女子大学専門職大学院
福祉社会・経営研究科福祉共創マネジメント専攻

【コーディネーター】 李 恩心 准教授
昭和女子大学人間社会学部福祉社会学科

プログラム

■ 開会の挨拶

高橋 学 教授

昭和女子大学 専門職大学院 福祉社会・経営研究科長

■ 趣旨説明

奥貫 妃文 教授

昭和女子大学 人間社会学部福祉社会学科長

■ パネリストによる事例発表

1

介護の現場から (韓国)

韓国の介護政策の現在と AI 時代の対応課題
済州研究院済州社会福祉研究センター長

オ・ユンジョン 氏

2

孤独死予防の現場から (韓国)

AI を活用した中高年及び
独居高齢者の孤独死予防の事例と課題
アラ総合社会福祉館長

クオン・ミエ 氏

3

障害者職業リハビリテーションの 支援現場から (韓国)

AI と一緒に働く「生産型障害者就労モデル」
障害者職業リハビリテーションセンター
「仕事学びの場」園長

オ・ヨンスン 氏

4

相談支援現場から (日本)

AI を活用した福祉相談支援
株式会社 ZIAI 代表

櫻井 昌佳 氏

■ パネルディスカッション コメンテーターによるコメント

■ 閉会の挨拶

坂東 眞理子 昭和女子大学総長